

メタセコイア会を中心とした小中合同によるボランティア活動

ねがい

〈目的〉

小中学生が共働でボランティア活動を地域も巻き込んで行うことにより、三木町民としての自覚意識、奉仕の精神、感謝されることによる自尊感情等の高揚を目指す。

〈内容〉

つながり

● メタセコイア会の実施

夏休みに4小学校の児童会の児童が中学校に集まり、中学校の生徒会の生徒とともに、「メタセコイア会」を開催しました。各校の児童会・生徒会が取り組んでいる内容を発表したあと、三木町をもっとよりよくするために、自校で取り組んでいることをどう地域に広めていくかを話し合いました。また、中学生が小学校に出向いてあいさつ運動や清掃活動などのお手伝いをする日程等も決めました。3月の春休みには、今年度の反省と次年度の計画を行う予定です。

● 小中合同、地域の方たちとの連携による活動

1 中学生による小学校でのボランティア活動

9月より月1回のペースで、4小学校に対してボランティア活動を行いました。各小学校に今中学生に手伝ってもらいたいことは何かを聞き、主として放課後に活動しました。活動した内容は、駅の清掃、河川の清掃、教室や廊下のワックスがけ、校庭の植木の剪定作業、あいさつ運動でした。



【小中合同によるメタセコイア会】

2 地域の方たちと小中学校との連携

8月には町内の文化センターに出向いて、敷地内の草抜き作業を行いました。センター職員や地域の方たちの指導のもと、暑い日中ではあったものの、ともに汗を流しながら取り組みました。また、小学校で栽培しているサトウキビ畑の下草取り（8月）や皮むき作業（12月）を地域の方や小学校の先生方、そして小学生も交えて行いました。



【小学校で剪定作業をしている様子】

〈成果〉

このような取組を通して、小学生は中学生の活躍する姿から理想の先輩像を持つようになり、やがて入学する中学校への夢や期待ももつようになってきています。また、中学生にとっては、自分の母校に行って活躍することで、後輩たちへの良き先輩であろうとする態度が身に付いたり、地域の人々から期待されていると実感したりすることから、自尊感情の高まりが見られるようになりました。実際に、ボランティア活動に参加する中学生は毎回100名近くおり、自信と誇りを持って取り組む生徒が多く見受けられました。

高まり